

L.1 聖徳太子 ・ 内容質問

1. 紀元607年に中国を訪れたのはだれでしたか。

小野妹子は中国を訪れました

2. 皇帝の前で手紙を読んだのはだれでしたか。

小野妹子は聖徳太子の手紙を読みました

3. 聖徳太子の手紙には、どんなことが書いてありましたか。

「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子にいたす。」と言いました

4. 中国の皇帝はどうしておこったのでしょうか。

中国の皇帝は怒りました。

5. 聖徳太子の手紙は日本人にとってどのような意義がありましたか。

この手紙で、聖徳太子は日中両国は対等だと言いました。

6. 何が、何に「由来する」と言っていますか。

山本と呼ばれるようになったのは、その書いた手紙に由来します。

7. 冠位十二階の身分制度によって、身分昇格の方法はどう変わりましたか。

この身分制度は本当に才能のある人は高い地位に就くことができるようになりました。

8. 十七条の憲法にはどんなことが書かれていますか。

十七条の憲法には綱常が書かれていました。

9. 法隆寺はだれが、何のために建てましたか。

聖徳太子は父のために法隆寺を建てました。

10. 聖徳太子はどのような宗教を教えましたか。

聖徳太子は仏教を教えました。

L.2 万葉集

1. 「万葉集」はいつ頃、だれによって今のような形にまとめられたと言われているか。
 - a. 大伴家持は西暦780年にまとめました。
2. 「万葉集」はいくつぐらいの和歌が集められたものですか。
 - a. 4500首の和歌を集めた。
3. 筆者によると、「万葉」の意味には二通りの説がありますが、その意味を説明してください。
 - a. 万の葉と万の世があります。万の葉はたくさんの歌を集めたものです。万の世は何万年も、つまりいつまでも「万葉集」にのっている歌を伝えようという昔の人の心を表しています。万の葉が永遠に歌を伝えて行きたいと言う意味です。
4. 「万葉集」に収めてある歌を作ったのはどんな人達ですか。
 - a. 天皇、貴族、役人、軍人、防人、田畑を耕す百姓が作った。
5. 日本人のほとんどが知っている「万葉集」の歌人はどんな人たちですか。
 - a. 有名な歌人は山上憶良、山部赤人、柿本人麻呂、額田王などです。
6. 山上憶良はどんな歌を作りましたか。
 - a. 山上憶良は深い意味のある歌を作った。~~子供についての歌をたくさん作りました。~~
7. 「銀も金も玉もなにせんに....」という歌は、何が何より大切だと言っていますか。
 - a. 子供たちは金銀や宝石より大切だ。
8. 荒雄はどこに住んでいましたか。
 - a. 志賀島に住んでいました。

9. 年をとっている漁師は、荒雄に何をしてほしいかったですか
- a. 荒雄に食料を船で運んで欲しかったのです。
10. 「行方不明」とは何ですか。荒雄はどこで(どことどこの間で)行方不明になりましたか。また、どうしてですか
- a. 荒雄は行方不明です。「行方不明」とは人がいなくなってしまった事です。荒雄は志賀島から対馬の間で行方不明になりました。ひどい急の嵐に荒雄が乗っていた船が沈んでしまったからです。

L.3 藤原道長

1. 筆者は、宇治の平等院は鎌倉などで見るお寺とどんなふうに違っていると言っていますか

宇治の平等院は貴族の建物です。

2. 宇治の平等院は、だれが、何をお寺に直したのですか
藤原道長の息子、頼通が別荘だった所をお寺に直したものです

3. 「この世をばわが世とぞ思うもち月のかけたることのなしと思えば」という歌は、だれが作りましたか。またどんな意味ですか
藤原道長が作りました。意味はこの世界中に、できないことは何もないと言いました。

4. 平安時代、貴族達はどんな生活をしていましたか。
平安時代、貴族たちは贅沢な暮らしをしていました。

5. 班田収授法とは何ですか。
班田収授法は法律です。この法律は土地を全部国のものにする事です。

6. 平安時代になると、どうしてみんな土地を開発し始めたのですか。
人口の増加とともにその土地がだんだん足りなくなってしまいました。

7. 土地を持つ人々はなぜ貴族に自分の開発した土地をあげたのですか。
自分たちが開発した土地を持つと税金をたくさん払わないといけません。そこで、その人々たちはそこで働き、税金を払わなくてもいい貴族たちに守ってもらうようにしました

8. 筆者によると、どうして貴族達はぜいたくな生活をする事ができたのですか。

税金を払わなくてもいい貴族たちは、農民にたくさん土地を開発させて荘園を増やしたので、ぜいたくな生活をする事ができたのです

9. 紫式部はどうして藤原道長のような人の生活ぶりを知っていたのですか。

紫式部は藤原道長の娘の屋敷に仕えていたことがあったからです。

10. 平安時代の貴族の生活を現在どのようにして知ることができますか。平安時代の貴族の暮らしぶりは、当時の物語を見ることで知ることができます。例えば、「源氏物語」です。

「紫式部」／「清少納言」

1. 作者はドンファンとカサノバと光源氏の中で、だれが一番美男子だったと言っていますか

作者は光源氏が一番美男子だったと言いました。

2. 光源氏は実在した人物ですか

いいえ、光源氏は架空の人物です。

3. 桐壺とはだれですか。また桐壺の巻にはどんなことが書かれていますか
桐壺は天皇の厚い寵愛を受けた女性でした。桐壺の巻には光源氏の生まれた源氏が12歳になる時までのことが書かれています

4. 桐壺は何が原因で死にましたか

宮廷の他の女性達にねたまれて、桐壺は病気になって、死にました。

5. 光源氏はなぜいろいろな女性と関係を持ったのですか

母の面影を慕ってからか、色々な女性と関係を持っていました。

6. 「紫式部」は作者が中宮に使えていた時の名前ですが、本当の名字は何ですか

藤原は本当の名字だと思います。(父は藤原為時)

7. 紫式部はなぜ優れた作家になることができたのでしょうか

紫式部父、藤原為時の影響で幼い頃から物語や和歌の本を読み、漢文学も学んでいました。

8. 紫式部はなぜ中宮に仕えることになりましたか

紫式部の夫が死別し、息子のため中宮に仕える事になりました

9. 物語は紫式部のどのような経験がもとになって書かれているでしょうか
宮廷での生活や経験がもとになって書かれていました。

10. 紫式部によると、どうして物語が世の中を一番よく表すことができるのでしょうか

紫式部によると、社会で起った事だけではなく虚構も使う事によって、その当時の世の中を詳しく表すことができます。

「紫式部」／「清少納言」

1. 「枕草子」は文学のどんなジャンルに入りますか
「枕草子」は随筆に入ります

2. 「枕草子」はいつ頃書かれましたか
平安時代に書かれました。

3. 「枕草子」には、どんなことが書かれていますか
「枕草子」には、「春はあけぼの」が書かれていました。

清少納言は既に男性と女性の間不公平さ、性別による人生における進路の相違が書かれています。

4. どうして定子の身の上に不幸なことが起こったのですか
道隆の死後、道長が急に力を増し、定子を守る人がいなくなったから。

5. 清少納言はどのような考え方を持った女性でしたか。

一千年以上前に、清少納言は男性と女性の間不公平さがあるという考え方を持った女性でした。

6. 一行目の「対語」とは、どうゆう意味ですか。また、何が対語であると言っているのですか
対義語です。紫式部のライバルです。
7. 清少納言と紫式部は、どのような点で似ていますか
二人は日本の歴史で有名な作者です。特に二人とも女性です。
8. 清少納言の使えた中宮は誰でしたか
一条天皇の中宮でした
9. 彰子と定子はどういう関係でしたか
彰子は藤原道長の娘にあたる人で、定子は道長の兄、道隆の娘でした。
10. 小説と随筆はどのように違いますか
小説はファンタジーで、随筆は自然や人生、社会に対する筆者の率直な感想や思想をくみ取ることができます。

「源氏と平家」

1. 日ごとに力をなくしていったのはだれですか。
貴族達は日ごとに力をなくして行きました。
2. 筆者は何を、美しい花が散ってしまうことにたとえていますか。
作者は貴族の豪華できらびやかな生活をたとえました。
3. だれが、だれに代わって力を増してきましたか。

貴族に代わって力を増してきたのが武士です。

4. 武士は、初めはどのような事をしていて、その後どうなりましたか。
武士は、初めは天皇や貴族の後継ぎ争いに使われて戦っていたのですが、だんだん力を増し自分達の間で激しい勢力争いをするようになりました

5. 武士の中で有力だった二つのグループは何ですか。
源氏と平家です。

6. 戦いの末、はじめに勝ったのはどちらのグループでしたか
戦いの後に平家が勝ちました。

7. 源義朝の子供達はどうなりましたか
義朝の息子、頼朝は伊豆に流されま。平清盛は義経をお寺に預けました。

8. 平家を完全に滅ぼしたのはだれですか
頼朝と義経が平家を完全に滅ぼしました

9. 日本で初めての幕府を開いたのはだれですか。
日本では頼朝が初めて幕府を開きました。

10. 平清盛と源頼朝の政治の仕方はどのように違いましたか。
平清盛は貴族たちと一緒に住んでいました。貴族と同じ生活をしました。
頼朝は貴族の政治や生活のまねをしないで武士の政府を築き上げました。

L6A「日蓮」

1. 1185年、安徳天皇に何が起こりましたか。

1185年、安徳天皇は源義経に追い詰められ、瀬戸内海へ身を投げました。

2. 日蓮が生まれたのは西暦何年でしたか。

1195年に日蓮が生まれました。

3. 「南無阿弥陀仏」というのは何宗のお経ですか

「南無阿弥陀仏」は浄土宗のお経です

4. 日蓮の二つの疑問は何でしたか。

日蓮の二つの質問は「多くの人が仏教を信仰していたのに、なぜ日本は平和な国ではないのか？」と「この真実であるはずの仏教にも、どうしてそんなにたくさん宗派があるのか」ということでした。

5. 日蓮はどのようにして疑問に対する答えを得ようと思いましたか。

日蓮は鎌倉のいろいろなお寺で仏教を勉強し、比叡山に登り修行をしました。

6. 仏教によると、どのようにしたら平安が得られるとっていますか。

法華経を信じることで、平安が得られると言っていました。

7. 日蓮は、西暦何年に比叡山を下り、伝道を始めましたか。

1253年に比叡山を下り、伝道を始めました。

8. 日蓮はどのような答えを得ましたか。

日蓮は仏教の真の教えは法華経だと信じていました。

9. 日蓮はいろいろな迫害を受けましたが、どうしてそのような迫害を受けたと筆者は述べていますか

日蓮は折伏を使い、自分に反対する人達にも真向から説き伏せる方法をとったので、たくさんの人々からとても憎まれました。

10. 日蓮宗はどのようにして人々に受け入れられるようになっていきましたか。

国民が法華経を信じるようにならなければ、日本は外国に侵略されると予言し、**本当に侵略されそうになった**元寇の後、人々は法華経をだんだん信じていきました。

L6B「神風」

1. 元に従うように日本に要求してきたのは誰でしたか。
ジンギス・カンの孫のフビライが元に従うように日本に要求しました。

2. 鎌倉幕府はどうして元軍に負けそうになりましたか。
元の国は900隻もの大艦隊で日本に攻め寄せて来ました。

3. 1274年に何が起こりましたか。また、それはどうして不思議なことだったのですか。

1274年に風と嵐が博多湾を襲い、**元の船のほとんどを海の底に沈めてしまいました。元の国は大艦隊を送ってきたので、日本は負けそうになったのに、風と嵐のおかげで大丈夫だった。**

4. 第二度目の元からの攻撃は西暦何年でしたか。
7年後、1281年に元が再び攻撃しました。

5. 元軍の数は一度目と二度目とでは、どちらの方が多かったですか。
二度目の方が多いです。船も兵隊の数も前の5倍ぐらいあったそうです。

6. 二度目の戦いでは、元軍が一度目より苦労したと書いてありますが、どうしてですか。
日本は国中から強い武士を集めました。

7. 日本は二度の元の攻撃から、どのようにして守られましたか。
日本は大風から守られました。

8. どうして「神風」という言葉が生まれましたか。
日本はこの大風は偶然ではなく、神様が吹かせたと信じて、「神風」と呼びました。

9. 第二次世界大戦時の「神風パイロット」という呼び名には、どのような願いが込められていたのでしょうか。
パイロットを神風パイロットと呼びましたが、きっとその背景には、人々が元寇の時のような奇跡をこのようなパイロットに起こしてもらいたいという願いがこめられていたと思います。

10. 第二次世界大戦で負けると思っていなかったのは、どんな人たちでしたか。
元の国からも神風で守られたと信じていた日本人の一部分の人でした。

平家物語

1. 「冒頭」とは何ですか。

冒頭のことばで始まる「平家物語」は、日本人の人生に対する無常観を如実に表します。

段落の始まりのことです。

2. 次の言葉を日本語で説明しなさい。

祇園精舎: ブッダが亡くなった場所に建てられたお寺です

おごれる: 自慢すること

諸行: 悟りを開くための行動。

久しからず: 続かないもの。

無常: 不確実性

猛き者: (気性が) 激しい人

沙羅双樹: サラの(ブッダの死の床に使われた)木です。

滅びぬ: 滅びるに違いない

3. 「平家物語」を読むと、日本人のどのような気持ちがわかりますか。

日本人の人生に対する無常観(永遠に人生の中で続くものはない考え方)を如実に表します。

4. 「平家物語」は、誰と誰の戦いについて書かれたものですか。

平家と源氏が戦いました。

平家と源氏の戦いについて書かれたものです

5. 「平家物語」で、戦争に勝ったのはどちらですか。

戦争に源氏が勝ちました

戦争に勝ったのは源氏でした

6. 「平家物語」に一貫して表されている考え方は何ですか。

素晴らしいものは永遠には続かないということを表した物語です。

方丈記

1. 「方丈記」はいつ、誰によって書かれましたか。
13世紀に鴨長明が「方丈記」を書きました。
「方丈記」は13世紀に鴨長明によって書かれました。
2. 次の言葉を今の言葉で説明しなさい。
 - a. 行く河: 川を流れる水
 - b. 久しくとどまりたる! 長い時間残る
 - c. 絶えずして!! 止まらない.
 - d. もとの水にあらず! 元の水ではありません
 - e. すみか! 家
 - f. うたかた!!! 泡
 - g. かくのごとし! 似てる
 - h. かつ消えかつ結びて: 消えたり現れたり
3. 鴨長明は、**どうして**世の中が信頼できなくなったのですか。
鴨長明は親戚にその職を奪われて出世ができなくなってしまった**から**です。
4. 世の中が信頼できなくなった結果、鴨長明はどうしましたか。
鴨長明は大原に隠れて静かな閑居生活を始めました。
5. 「方丈記」はどこで書かれたのでしょうか
日野外山で「方丈記」が書かれました。
6. 「方丈記」の前半には、どんなことが書かれていますか。
前半には
「方丈記」には、その当時起こったいろいろな世の中の混乱や災害が書かれています。

7. 「方丈記」の後半には、どんなことが書かれていますか。
随筆の後半では、出家してからの自分の生活を描き、他人に迷惑のかからない静かな山の中での生活が、いかに気楽で味のあるものか説明しています。

8. 「方丈記」の最後の章に書いてある鴨長明の迷いはどんなことでしょうか。

鴨長明の心はまだ濁っていました

まだ心に煩悩がありせいじんいになりませんです

織田信長

1. 15世紀の終わり頃、室町幕府はどんな状態でしたか。

15世紀の末になると全く力がなくなり、幕府の言うことを聞く者は一人もいなくなっていました。

2. 戦国時代は、簡単に言うとどんな時代でしたか。

百年間ぐらい日本中がいろいろな国に分かれ、その指導者である大名が、我も我もと京都に進んで、全国を治めようと戦い合いました。

3. 戦国時代の次の武将はどんなことをしたので有名ですか。

信長は非常に優れた家来、木下藤吉郎や新しい戦争の技術などの助けで、次々と大名を倒し京都に上りました。

4. なぜ織田信長は次々と勝ち進むことができたのでしょうか。

織田信長は気が短い性格の武将でした。

5. 織田信長はどんな 性格の武将でしたか。

冷酷な性格の持ち主であったともいえます。

6. どうして織田信長は寺を焼き払ったの ですか。

信長は気が短すぎっていました

7. 明智光秀は織田信長にどんなことを勧めましたか。

「もう少しお寺やお坊さんを大切にするように」と勧めました。

8. 二度目に明智光秀がしかられた理由は何でしたか。

徳川家康に豪華なもてなし方をするので、光秀はまたまた信長にしかられてしまいました。

9. 本能寺で何が起こりましたか。また、なぜそのようなことになったのですか。

本能寺に火をつけ、その中で死んでいきました。